

夕張メロン産地の再興に向けた趣意書

北海道の夏の味覚、そして我が国を代表するトップブランドとして、国内初のG I（地理的表示保護制度）を取得している「夕張メロン」は、近年、担い手や労働力の不足により作付面積が減少し、生産体制の弱体化が懸念されており、このまま農家戸数、作付面積の減少が進むと、地域の経済・社会にも大きな影響を及ぼすことが危惧されている。

先人達の弛まぬ努力により築かれた夕張メロンの生産技術やブランド力を後世に引き継ぐためには、現状について共通認識を持ち、必要な対策を講じていかなければならない。

このため、北海道と夕張市、J A夕張市は、平成28年6月に、プロジェクトチームを結成して検討を重ね、本年3月、「夕張メロン産地再興戦略」を策定した。

北海道と夕張市、J A夕張市は、これまで以上に連携を強め、高いブランド力を持つ夕張メロンの生産体制をより強固なものとし、未来へ向けて一層の振興を図っていくため、この戦略に基づく担い手・労働力確保対策と生産拡大対策に全力で取り組むこととする。

平成29年5月26日

北海道知事

高橋はるみ

夕張市長

鈴木 直道

夕張市農業協同組合代表理事組合長 加藤 春之